

女性いきいき大賞 最優秀賞 受賞

2019年3月8日



2019年(平成31年)3月9日(土) 第3種郵便物認可

住みよい地域へ 10団体表彰



受賞団体のみなさんと選考委員ら

第13回「女性いきいき大賞」表彰式

住みよい地域社会づくりの活動を女性が中心となって進めている団体に贈られる「第13回女性いきいき大賞」(コープやまぐち主催、朝日新聞社など後援)の受賞10団体が決まり、8日、宇部市で表彰式があった。最優秀賞(県知事賞)には「高齢社会をよくする下関女性の会(ホーモイ)」(田中隆子代表、下関市)が選ばれた。



計23団体から応募があった。学識経験者や行政、報道関係者ら9人の選考委員会が、継続性や地域性、将来性・影響力などを考慮して受賞団体を決めた。ホーモイは2003年に活動を始めた。「すべての人たちが自立し、共に支え合い、安心して生きられる市民社会の創造」をめざして、「介護予防のためのサロン」や「市民福祉講座」を開いてきた。2008年(第2回)の優秀賞に続く受賞。子どもの貧困問題にも活動を広げ、「生野きりぎりす」も

最優秀賞「高齢社会をよくする下関女性の会」



最優秀賞(県知事賞)を受けた「高齢社会をよくする下関女性の会(ホーモイ)」のメンバー=いずれも宇部市

食堂」の運営にも取り組んでいる。表彰式で、選考委員長の樋口紀子・梅光学院大学長は「過去に優秀賞を受賞した団体が最優秀賞に選ばれたのは初めてのケース。高齢者問題の取り組みを継続しながら、活動を時代に合わせて子ども分野にも広げていった」と評価した。ほかの受賞団体は次の通り。カッコ内は代表者名(敬称略)と所在地。

【優秀賞】朝日新聞社(特定非営利活動法人Nest(石川章、下関市)▽yab山口朝日放送賞 全国生涯学習音楽指導員協議会山口支部(阿部恭子、山陽小野田市)▽山口新聞社(敬称略)と所在地。

【最優秀賞と優秀賞、コープやまぐち奨励賞の7団体の活動内容を後日の紙面で順次紹介します。】

【コープやまぐち組合員賞】外入(とのにゅう)サロン(柳原春美、周防大島町)▽世界青年徳山友の会(茅原正春、周南市)▽すこやか夢農園(岡山幸子、柳井市)

【コープやまぐち奨励賞・学生部】YPU TFF Project(井上沙織、山口県立大)

【コープやまぐち奨励賞】社 かわい山口ラフタークラブ(重宗美智子、山口市)【コープやまぐち奨励賞】ままとおん(藤原真里子、山口市)▽素浪人塾(福田寿美子、岩国市)

【コープやまぐち奨励賞・学生部】YPU TFF Project(井上沙織、山口県立大)